

教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

令和4年度を振り返って

大牟田市教育委員会
教育長 谷本 理佐

令和5年になり、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザ感染症との同時流行もありましたが、「教育活動は継続する」という方針で、教育行政の運営を行ったところ。この間、校長先生をはじめ、教職員・保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

令和4年度は、学力向上プランの確実な実施、オンライン授業や家庭学習などのICT教育の推進、学校・地域が主体的に取り組むESDの充実、防災・減災教育の推進、特別支援教育の充実、夜間中学の設置検討などに取り組みしました。また、宮原中学校区において、義務教育9年間を見通した小中一貫教育制度を試し、学力の向上や心身の健全な育成、「中1ギャップ」や不登校の解消などに取り組んだところ。加えて、次年度に向けた教育課程の見直しや諸行事の見直しを行うとともに、中学校の新標準服(制

服)の検討、部活動の見直し、校則の見直しなど、さまざまな改革に着手することができました。教職員・保護者の皆様へのアンケートの実施をはじめ、ご意見等をお聞きしながら、また、ご理解・ご協力をいただきながら、進めているところ。令和5年度は、今年度と同様に学力向上などに取り組むとともに、小中一貫教育制度を宮原中学校区で本格導入し、宅峰・松原中学校区において試行します。また、不登校などの教育相談の充実、さらに、中学校の再編整備にあたり、歴史・橘中学校に学校再編協議会を設置し、新校の円滑な開校のための準備を行います。

教育委員会では、子どもが夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となるようにさまざまな取り組みを進めてまいります。そして、一人ひとりの命・人権が尊重され、安全で安心な学校で意欲的に学べるように全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後とも本市の教育への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

海と人の共生について考えを深めました 海洋教育こどもサミット2023 in おおむた

みなと小学校・天領小学校・駛馬小学校・天の原小学校の4校は、本市の海洋教育推進校です。

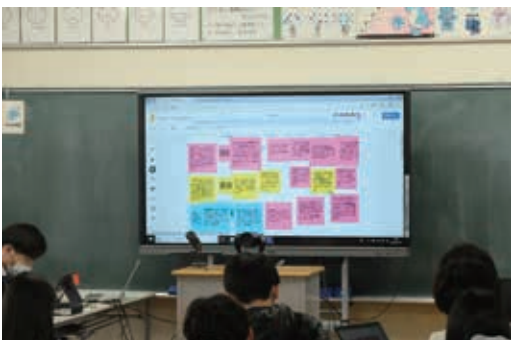
1月20日に「海洋教育こどもサミット2023 in おおむた」を開催しました。九州・沖縄地区の海洋教育推進校が参加し、各学校をオンラインでつないで、児童生徒が日頃の学習の成果を発表し、交流しました。

発表校は、グループに分かれて、それぞれに工夫を凝らしたスライドを使った発表や意見交換をしたり、全体で今後の取り組みについて意見交流をしたりして、さらに考えを深めることができました。

子どもたちは、市内の学校だけでなく他の地域の学校との交流を通して、新しい視点で海を見つめることや、海を守るために共に取り組むことの大切さを改めて感じることができました。

発表校とテーマ

- みなと小学校 「海と防災・減災」
- 天領小学校 「有明海の魅力、発信」
- 駛馬小学校
「海と人の共生 宮原坑と三池港・海とのつながり」
- 天の原小学校
「私たちの山、私たちの海、私たちの川」
- 唐津市立東唐津小学校 「私たちの海とSDGs」
- 糸満市立糸満南小学校 「地域と海」
- 竹富町立船浦中学校 「海・自然と生きる探求活動」
- 竹富町立小浜小中学校 「海と祭祀」



出された質問や意見、課題の共有



みなと小学校児童の発表

学校教育功労者表彰

本市の学校教育の振興に特に功績があった人に対し、教育委員会が毎年度表彰を行っており、今年度は16人が受賞されました。

【登下校時の見守り】

- 江口 秀輔さん
- 大津 久仁夫さん
- 川畑 長生さん
- 北島 徹也さん
- 猿渡 清隆さん
- 田島 喜美子さん
- 田中 久仁子さん
- 橋本 明子さん
- 丸山 誠さん
- 溝口 芳治さん
- 吉村 博成さん
- 龍 正弘さん

【運動場整備】

- 谷口 靖宏さん

【学校医】

- 緒方 達也さん
- 棚成 嘉文さん
- 前田 謙一さん

(順不同)

人と人の「つながり」を大切に

ユネスコスクール・SDGs / ESD子どもサミット

1月14日に文化会館小ホールで「ユネスコスクール・SDGs / ESD子どもサミット」を開催しました。

教育委員会の重点事業「未来を創るESD推進事業」の一環で、参観者を招いての開催は3年ぶりでした。

谷本教育長による挨拶に続き、昨年度、「子どもおおむた大使」に認定された田隈中学校1年生の駿馬瑛太さんが「ユネスコスクール・ESDのまちおおむた」宣言を行いました。

宣言に続き、子どもたちが、それぞれの学校や地域の特徴を生かしたESDの学習の成果を発表しました。また、発表後のインタビューでは、学習を通して感じたことや、これから取り組みたいことをしっかりと答えています。

各学校の発表後には、長年にわたり

本市のESDにご支援をいただいている奈良教育大学ESD・SDGsセンター准教授の及川幸彦先生による講評がありました。

及川先生は、子どもたちに、

● 地域の人たちに支えられながら、子どもたちが学習に取り組んできたことがしっかりと伝わってきた。

● 大牟田の子どもたちには、自分が学んだことに誇りを持ち、将来は大牟田のまちを支える人になってほしい。もし大牟田を出て行くことになっても、市の外から支える人になってほしい。

などの言葉をいただきました。

これからも教育委員会と学校は、子どもたちが大牟田の未来と持続可能な社会を創ることができる人になれるよう、人と人の「つながり」を大切にしながら、ESDに取り組んでいきます。

子どもサミットの発表校とテーマ

- 天の原小学校6年生
「私たちの山・川・海
～共に生きていくために～」
- 羽山台小学校4年生
「発見！羽山台の宝」
- 倉永小学校5年生
「倉永小 災害につよいまちづくり」
- 甘木中学校2年生
「アップサイクルプロジェクト
～これからの大牟田のまちづくり～



「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた」宣言



インタビューでもしっかりと受け答え(天の原小学校)



子どもたちがESDの学習の成果を発表(左から、甘木中学校、倉永小学校、羽山台小学校)

■ 問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室 (☎412867)